



ためしもいち!

市民の“やってみたい”からはじまる景観まちづくり



さととし

地元と都市部の内と外の両方の視点と活動の場を持ち、
課題や魅力に新しい価値を生み出す地域課題解決を得意とする団体です。

本日の
プレゼンター



中村彩乃 水戸出身

建築家・まちづくり
東京と水戸の2拠点生活



川島飛鳥 ひたちなか出身

広報・地域プロジェクト推進
東京からUターン



下市エリアを拠点に活動して6年目



ためしもいち!

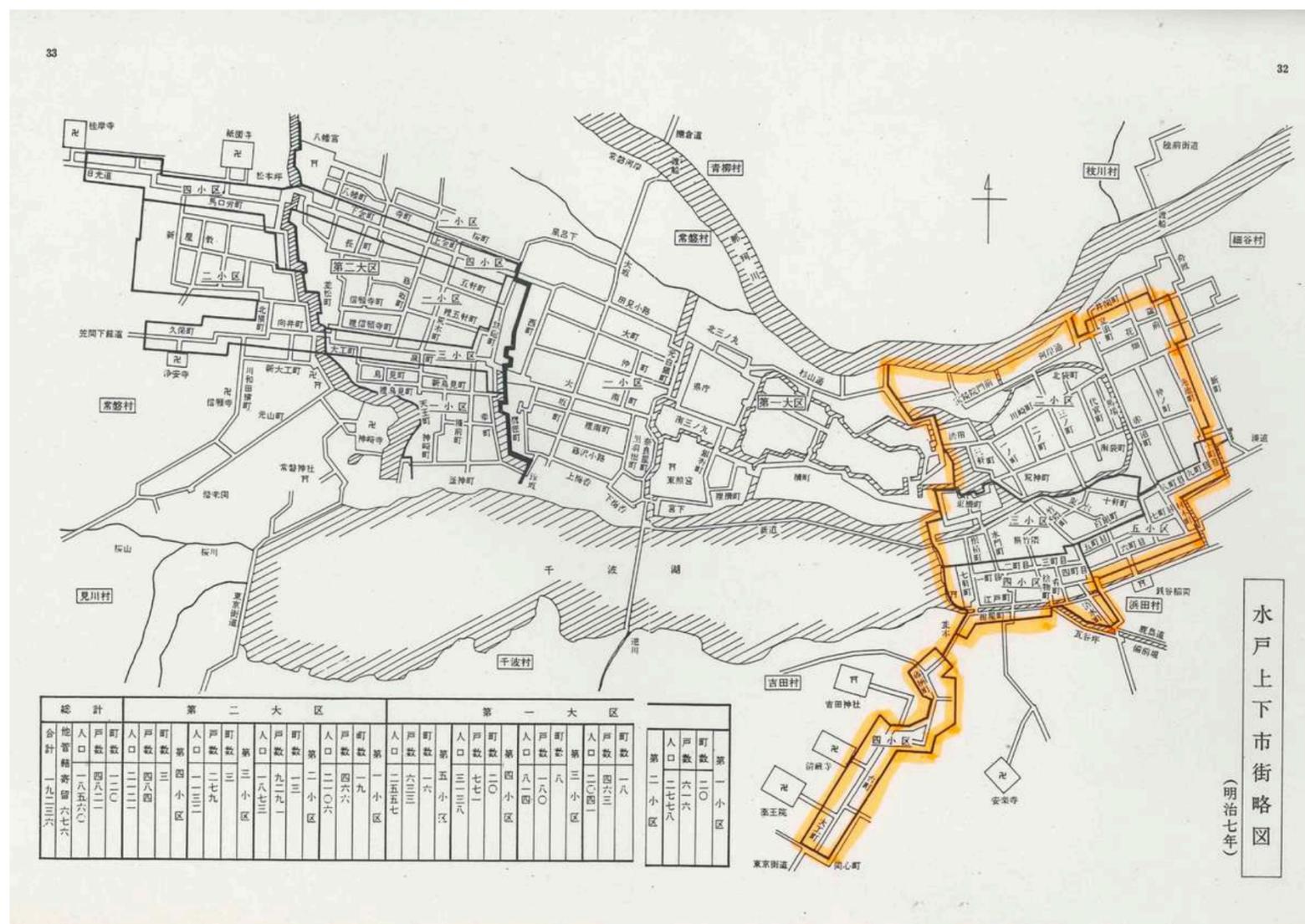
市民の“やってみたい”からはじまる景観まちづくり



下市について

400年の歴史を重ねてきたまち

備前堀や商店街など、大切に受け継がれてきた景観があります。



1625年に水戸城東側の低湿地地帯を埋め立てて城下の商人を移した「田町越え」が行われました

市と私たちの考える「景観まちづくり」

雰囲気や価値も含め育てていくこと

建物だけではなく、歴史や文化、人の暮らしや活動の積み重ね



浜田地区意見交換会での住民の声

都市景観重点地区に指定から23年、少子高齢化や空き家の増加が進むなど、地域の状況が変化していることから、地域住民のみなさまと景観まちづくりのあり方を考えるため市が開催した意見交換を実施



空き家を活用して、
人が外にいる気配が生まれていくと良い

住んでいる人も外から来た人も
まじり合うようなあたたかい場所

自分のアイデアや関心ごとを、
形にして、まちにひらく
プロジェクト
2025

TAMESHIMOICHI



やってみたい、をやってみる。

7月13日(日)締切
参加者
募集中!

空き家からはじまる、まちの実験

日常の延長で
自分のやってみたいことを
まちに開いて
“ためしに”やってみる。

ためしもいち!

9名の参加者（高校生～50代）
移住者2名、都内在住1名、市内6名



やってみる場所（空き店舗）
贈答用の紙箱を作っていた紙工所



「やってみる」をやってみる約6ヶ月

7月

歴史や景観の
学びと視察

8月

アイデア計画

8月

空間活用
計画

9.10月

広報計画
DIY実施

11月

「やってみる」
の実施



会場：旧・川崎紙工有限会社(水戸市本町2-1-35 ハシグロロード513番地) | 入場無料

ためしもいち! marché

マルシェ



11月1日(土)
11:00—16:00
開催!

会場: 旧・川崎紙工有限会社(水戸市本町2-1-35 ハミングロード513沿道) | 入場無料

“ためしにやってみる”が
集まるマルシェ!

高校生～50代まで多様な9名が『やってみよう』を実際にカタチにしたブースが並びます。
日常の延長にある小さな挑戦をのぞきにきてください。

ミトネ民藝



手刷りのTシャツと
西ノ内紙を使用した
紙文具販売
金田 修子

四面楚歌



クローバーの焼き菓子
×革靴コラボセット販売
小島 謙一

よしこのほんや



本の販売
(文学、アート系、漫画、
絵本、ZINEなど)
平田 佳子

森の似顔絵やさん peach leaf



あたたかな雰囲気
の似顔絵
柴崎 桃葉

Shimoichi Tabla Dha!



シモイチ タブラ ダ!
下市の空き家空間×北
インドの民謡楽器“タブ
ラ”を使った演奏披露
横山 新希

おれんじべやの ワークショップ事例



「地域に広がるワクワク体験」
びじゅつ教室の講師が主催す
るワークショップの様子や見
本作品を展示
木村 睦

みんなの広場

みんなの広場には、ビー玉を転がして楽しむ
“ビー玉迷路”が置いてあります。



RENOHA's handmade



子ども・保護者向けの
ハンドメイド販売
田中 望羽

謎の予告状



～ハミングロード513の危機を救え!～
街歩き型
謎解きアドベンチャー
※15:00受付終了
根本 司

晴れと風



ポストカードやシール、
ミニポスターなど、
紙もの雑貨の販売
戸板 咲紀

ためしもいち!マルシェ

2025年11月1日(土) 11:00—16:00 | 入場無料

エコバッグ持参、小銭のご用意をお願いいたします。



【会場】

旧・川崎紙工有限会社
(水戸市本町2-1-35
ハミングロード513沿道)

【アクセス】

・公共交通:「本町二丁目」バス停下車すぐ
(水戸駅北口から190円)
・お車:「水戸市本町駐車場」(30分100円)をご利用ください

ためしもいち!とは

「ためしもいち」は、茨城県水戸市・
下市(しもいち)エリアを舞台に、
自分の関心やアイデアを、まちの中で
ためしにやってみる
約6ヶ月間のプロジェクトです。

主催・運営: さととし | 水戸市役所 都市計画課
詳細・問い合わせ先: Webサイト → <https://tameshimoichi.studio.site/>
メールアドレス → tameshimoichi@gmail.com



Webサイト

Instagram



似顔絵屋さん



革かばんと
レモンケーキ販売



本屋さん



謎解き企画



下市の日常
ポストカード販売



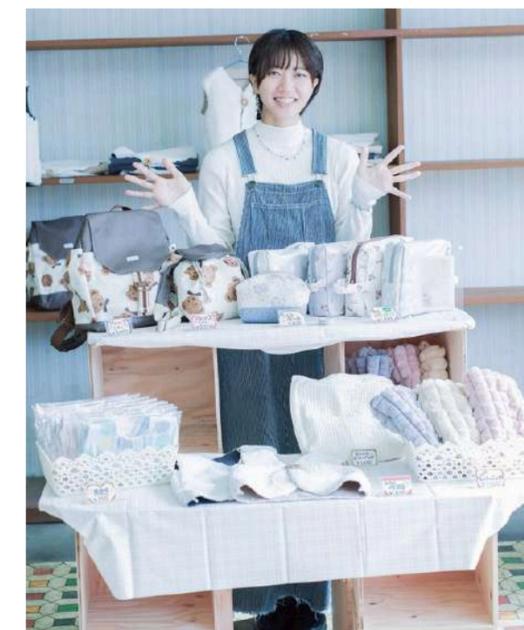
タブラの演奏



水戸モチーフの
紙文具販売



美術教室



親子向け
ハンドメイド

川崎紙工有限公司







320人

来場

市内・市外・県外



最大の成果は、人の心に火がついたこと

自分も何か
やってみたくなった

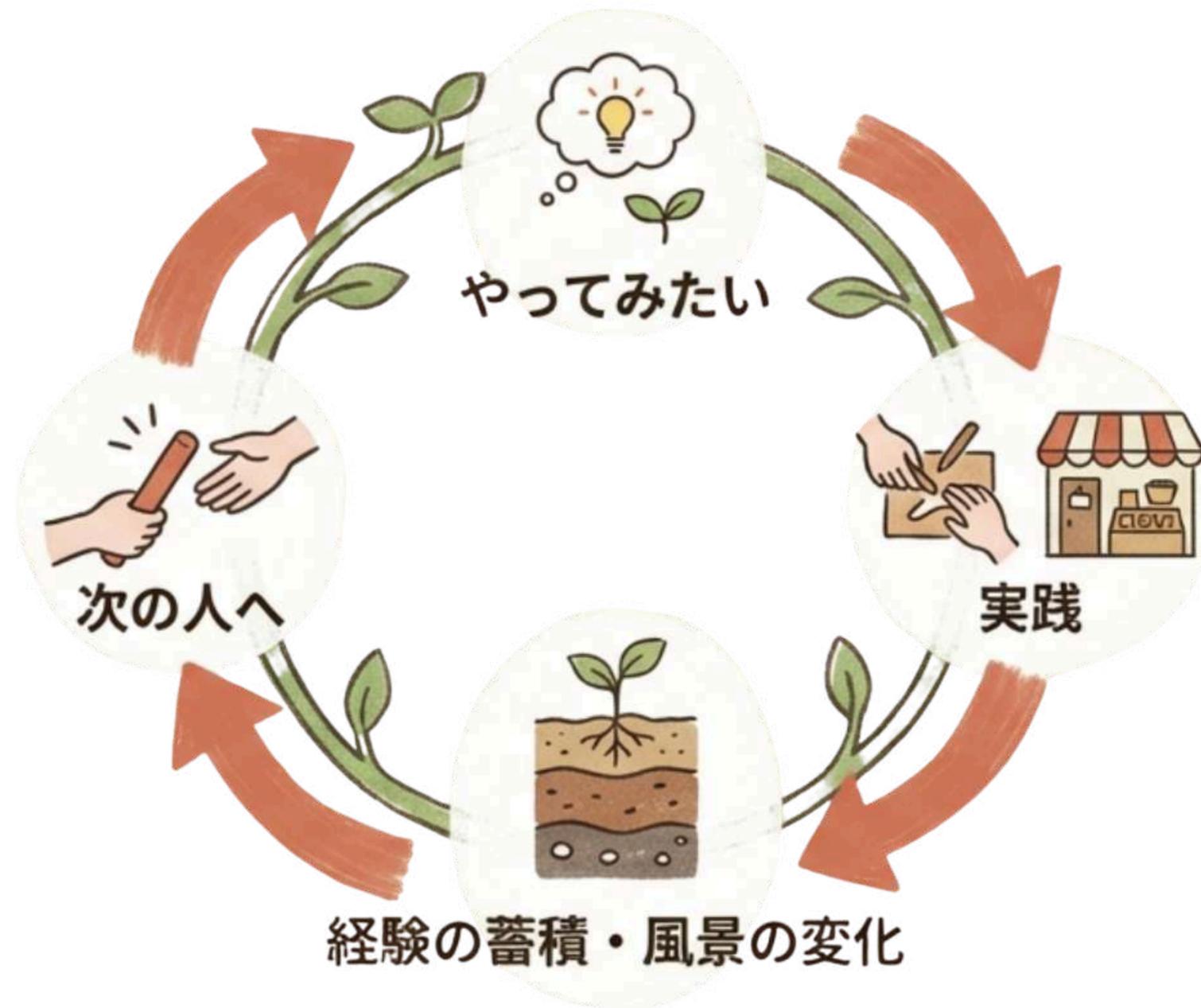
うちのお店にも
商品置きませんか？



- 空き店舗が開き、新しい風景が生まれた
- 実践者もお客さんの中にも、前向きな気持ちが生えた

1年目の成果

最大の成果は、人の心に火がついたこと



下市に関わる人が
少しずつ増えていく
流れとして、
2年、3年と続けていきたい

2年目は何を变えるのか(1)

「支える人」も育て、循環する仕組みをつくる

1年目の経験



運営

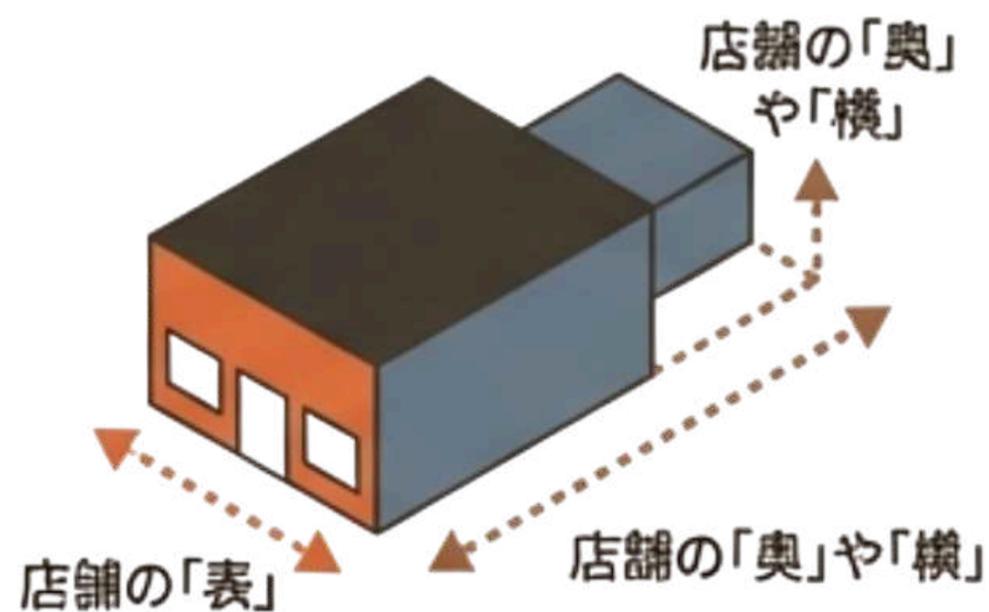
目指す姿



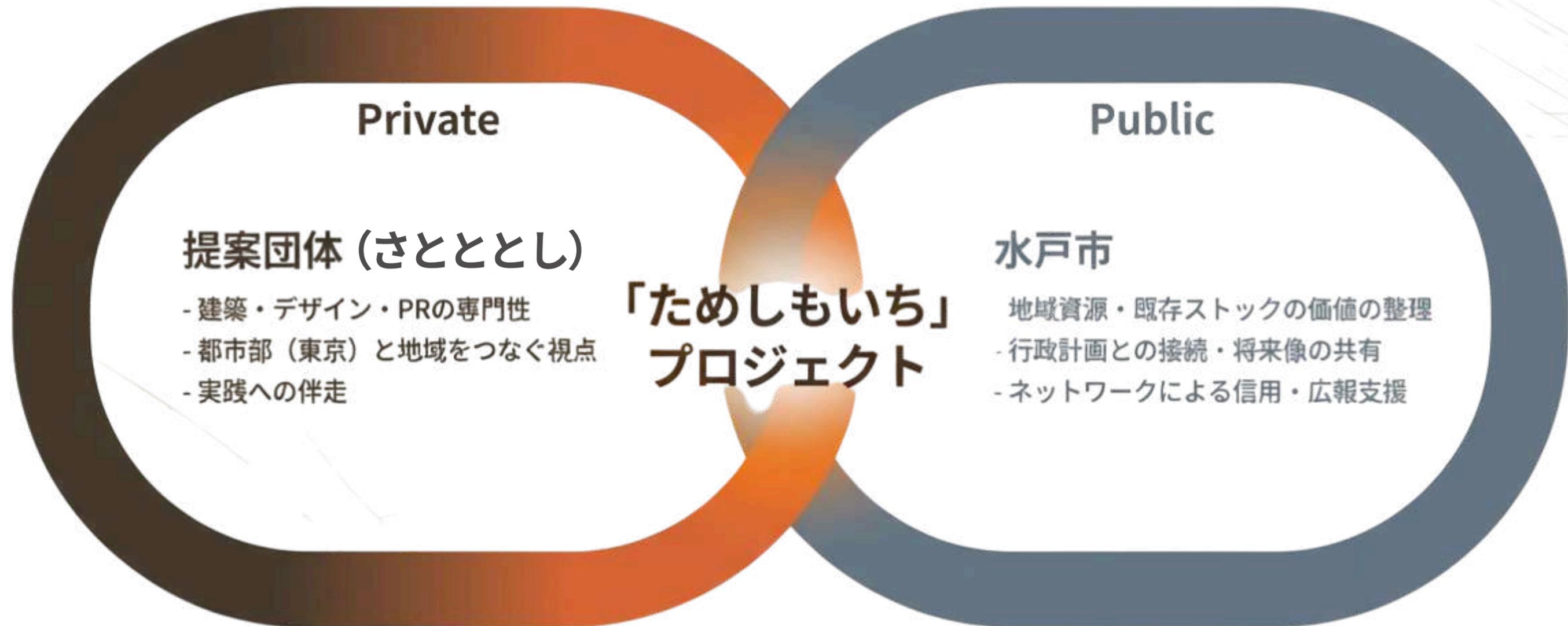
チーム運営

2年目は何を变えるのか(2)

空き店舗の試す場所を増やし、回遊性も高める



官民協働による相乗効果



収支について

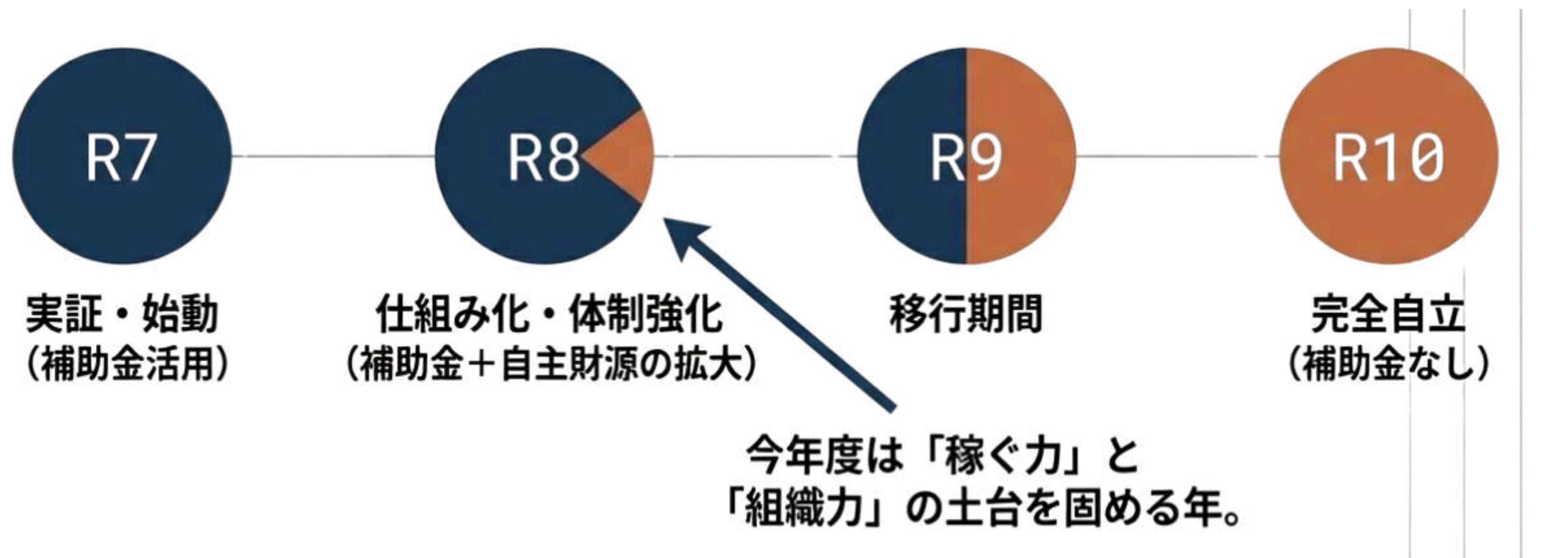
3年目以降、自走する景観まちづくりへ

収支計画書 (R8年度予算)

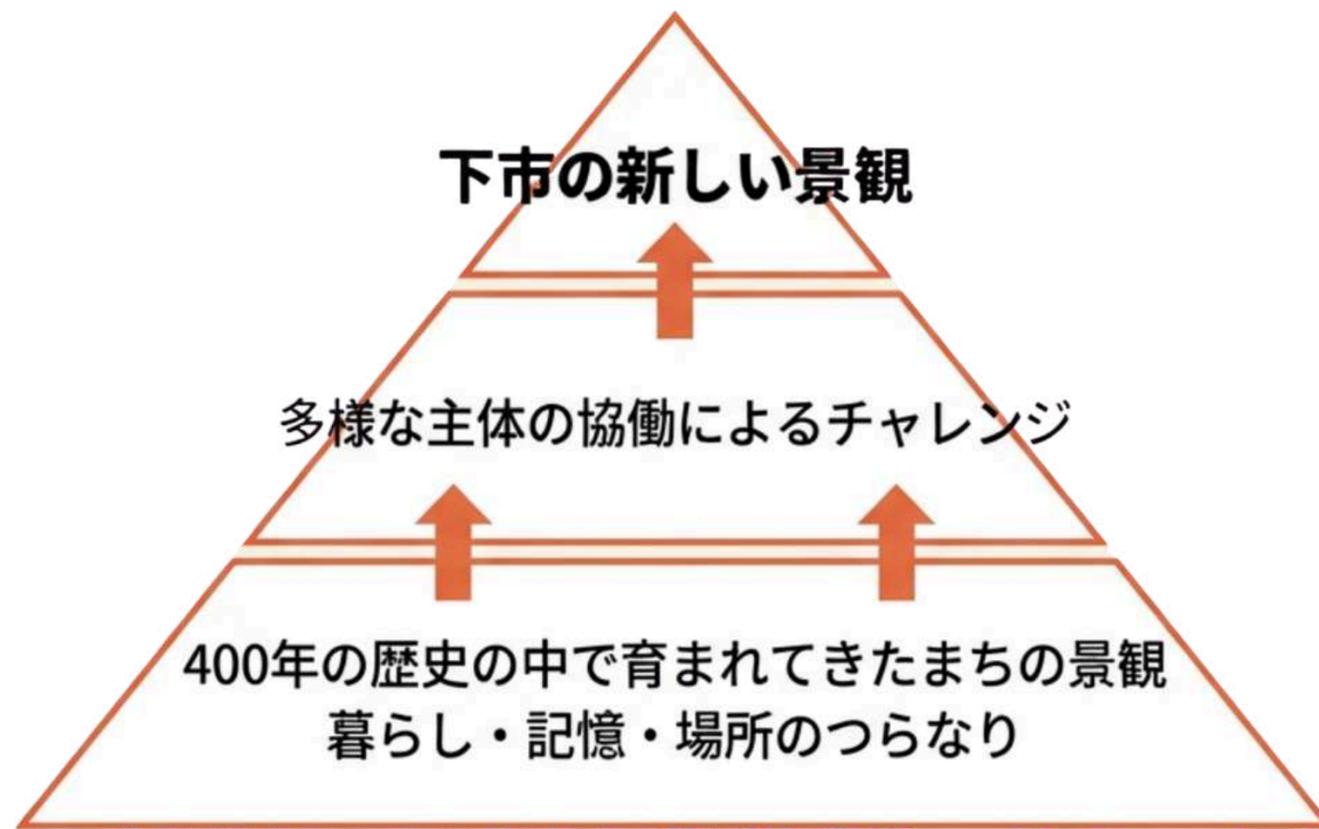
【収入】		【支出】	
助成金	500,000	印刷製本費① (広報)	80,000
参加負担金① (講座)	30,000	印刷製本費② (マップ)	90,000
参加負担金② (マルシェ)	30,000	委託費① (HP)	30,000
収入合計 (A)	560,000	委託費② (撮影)	60,000
		委託費③ (制作物)	100,000
		賃借料	100,000
		謝礼費① (講師)	40,000
		謝礼費② (運営補助)	60,000
		支出合計 (B)	560,000
収支差額 (A) - (B) : 0			

自主財源 11%
(自立への第一歩)

3年目以降、自立に向けたロードマップ



市民の小さな実践の積み重ねが、 下市の新しい景観に



将来の目標：令和10年度からは補助金に依存せず、地域の中で自立して継続する仕組みを目指します。

ビジョン：「やってみたい」が日常的に生まれるまち。居心地が良く、また来たくなる下市。
協働のプロセスそのものを、持続可能なモデルとして定着させます。